

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ第七弾  
「ペリクリーズ～船上の宴～」  
【2011.9.8～9.10/能楽堂】

とても素晴らしい公演でした。和洋の組み合わせが  
すごく良かったです。最後にペリクリーズの家族が再会する  
シーンで号泣しました。(20代/女性)

もの静かな口調の内に秘めた役者たちの情熱が、  
能楽堂という舞台の上で存分に表現されていたと思います。  
衣裳や踊りも素晴らしいかったです。(神奈川県/女性)



第67回新潟定期演奏会/  
東京交響楽団  
【2011.9.4/コンサートホール】

指揮者のオーラが会場の全てを包み込み、素晴らしい  
時間となりました。実演で聴いた「第九」としては  
生涯最高のものでした。(新潟市/40代/男性)

ブルッフのヴァイオリン協奏曲では、大谷康子さんの  
演奏がとても良かったです。耳で聴くだけでなく、  
目で、肌で感じるものがありました。  
また小林研一郎さんの指揮がとても印象的でした。  
(新潟市/40代/男性)

金森穰・山本真希  
震災復興支援公演



金森穰&山本真希 震災復興支援公演  
【2011.7.1/コンサートホール】

初めてパイプオルガンを聴きました。その音色の深さに  
震災にも負けずに復興していける日本人の底力を  
引き出してもらえる気がしました。また、Noismの  
井関佐和子さんの動きの美しさ、キレのよさに驚きました。  
新潟にもこんなに素晴らしい芸術があったのですね。  
(新潟市/40代/女性)

心のコもった素晴らしい公演でした。新潟が、  
りゅーとぴあが育んだ文化の芽がこんなに充実した実と  
なっていることに感動しました。素晴らしい才能が  
花開いていますね。(長岡市/男性)



TACT/FEST  
国際児童青少年芸術フェスティバル  
【2011.7.29～7.31/劇場、スタジオBほか】

甥っ子たちがコープスの「飛行隊」を大笑いして  
見ていました。声、リズム、テンポ、動きに引きつけられて  
あっという間の30分でした。新潟でこのような催しが  
これからも行われることを希望します。  
(新潟市/30代/女性)

コープスの「ひつじ」は、すごくリアルで面白かったです。  
4歳の娘は「こわい」を連発。  
1歳になったばかりの娘は大泣きしてしまいました。  
そんな小さな子もひきつけるパワーのある  
パフォーマンスでした。(新潟市/30代/女性)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①

抽選で  
ペア2組  
4名様



イタリアンレストラン  
「リバーージュ」(館内3F)ランチ券

プレゼント②

抽選で  
ペア2組  
4名様



12/16(金)  
19:00開演

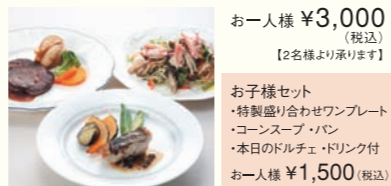
りゅーとぴあ・オルガン・クリスマス★コンサート  
公演チケット

応募方法:ご希望の商品名(①「リバーージュ」ランチ券、②「オルガン・クリスマス」公演チケット)、住所、氏名、年齢、  
職業、電話番号、本誌を入手した場所、本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。  
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.26プレゼント係」 present@ryutopia.or.jp  
応募多数の場合は抽選、当選者の発表は賞品の発送(公演チケットは当選のご連絡)をもって替えさせていただきます。  
また、いただいた個人情報プレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2011年11月20日(日)必着



季節のグルメコース(～10/31まで)  
～七・五・三など、ご家族のお祝いごとにご利用ください～

メニュー  
・海の幸と茸の温製サラダ・岩船産越乃黄金豚のバスタ・パン  
・佐渡沖鮮魚のムニエル・ニュージーランド産牛フィル肉のステーキ・ジャポネソース  
もしくは岩船産越乃黄金豚のフィレ肉のソテー・本日のドルチェ・コーヒー



お一人様 ¥3,000  
(税込)  
【2名様より承ります】

お子様セット  
・特製盛り合わせワンプレート  
・コンソープ・パン  
・本日のドルチェ・ドリンク付  
お一人様 ¥1,500 (税込)

※ランチタイムご利用のお客様はあらかじめご予約ください。  
※館内イベント開催時等はご予約のお客様のみとさせていただきます。

【編集後記】

東日本大震災の影響が長引く中、新潟・福島を襲った豪雨被害には言葉を失いました。厳しい自然と  
共存してきた新潟人でさえ、思わず立ちすくんでしまうほどの自然の猛威…。不安な気持ちで毎日を過  
ごされている方も多いと思います。今号の表紙は過去の「オルガン・クリスマス★コンサート」の一場  
面より選びました。今年の暮れもオルガンの癒しの音色を無事にお届けできますように。(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティーセンター、みなとびあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟  
ふるさと村アビール館、新潟県立図書館、新潟県立美術館(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、  
三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など

■次号のりゅーとぴあマガジンvol.27は2012年1月1日発行予定です。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622  
(休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521  
(休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621  
(休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

# RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2011 Autumn vol.26 | Life with Performing Arts



感動は自由席。

【CONTENTS】

- Spotlight Interview イリーナ・メジャーエワ
- Noism Report
- Ryutopia Navigation
- 山本真希のオルガン世界紀行
- ぶらりFURUMACHI
- 感動の余韻
- 読者プレゼント

りゅーとぴあカレンダー 2011 Autumn



# ベートーヴェンの “心”を伝えたい

“9月の「第九」”でスタートした連続演奏会「リゅーとびあ・ベートーヴェン・ツィクルス」。その中でも大きな聴きどころとなる《ピアノ・ソナタ選集》で、作品に命を吹き込むピアニスト、イリーナ・メジュエワが届けようとしているベートーヴェンの音楽とは？



写真:奥村和泰

——リゅーとびあでのリサイタルは2002年以来。今回が二度目になります。

前は真夏で暑かったですね。リゅーとびあコンサートホールの素晴らしい響きはとくに印象に残っています。大きな空間でありながら客席との距離が近く感じられ、弾き易かったです。客席の雰囲気がとても温かかったこともよく覚えています。

——ご結婚を機に1997年から日本を本拠地に活動されています。日本で暮らすようになって、ご自身の中で大きく変わったと思うことはありますか？

まずは日本語が少し分かるようになったこと！ といってもまだだのレベルですが…。それでも少しずつ日本語の論理で思考するようになってきました。夢の中でも日本語を話したり聞いたり。最近よく「日本人みたいだ」と言われるのですが、精神的に「和風」の面が強くなっているかもしれません。もともとおとなしくて控えめな性格で、自分が話すよりは人の話を聞くほうが好きでしたから、最初から「和風」テイストはじゅうぶん持っていたと思うのですけど。

——日本の古典芸能もよくご覧になるとか。

日本の伝統芸能は本当に奥が深いと思います。たとえば、その素晴らしい点のひとつに「型」を大切にしていることがありますが、西洋では逆に「個性」を出すことを重要視します。興味深いことに、「型」を守ってゆくことで自然に「個性」が出てくるのです。西洋のクラシック音楽といえども古典芸能ですから、同じことがいえるはず。個性は出そうと思って出るものではなく、あくまで自然に出てくるもの。「個性」よりも「作品」のほうが大事であることを日本の伝統文化から改めて教えられるます。

あと、文楽などで義太夫語りが見る台ごと頭上にかざす草鞋をしますが、素晴らしいですね。美しいと思います。見るたびに、私も楽譜(=作品)を敬わなければ、という気持ちにさせられます。

——メジュエワさんにとって、ベートーヴェンとはどんな作曲家ですか？

たいへん巨大な存在です。ピアノ曲はもちろんのこと、シンフォニー、弦楽四重奏曲など、多くのジャンルであれほど多くの傑作を書いたというのはまさに「怪物」的。ベートーヴェンがいなければ、クラシック音楽の歴史はまったく違ったものになっていたでしょう。

ピアノ・ソナタの場合特に顕著なのですが、ベートーヴェンは様式をどんどん変えていきます。常に新しい可能性を追い求めていた。良い意味で決して満足することのなかった人だと思います。どんなに素晴らしい作品を書いても、次はそれを乗り越えて行くという理想の高さは、本当に凄い。一切の妥協を排して芸術的理想を追求する厳しさの一方で、ある種の人間的な親しみが感じられるのもベートーヴェンの魅力ですね。根はとても優しい人だたのではないのでしょうか。

——前回のリゅーとびあでのリサイタルから9年が経ちました。この間、ベートーヴェンの作品に対する考え方や演奏スタイルに大きな変化はありましたか？

楽譜を大切に、という気持ちは今でもまったく同じです。ベートーヴェンの作品についていうと、以前は「18世紀から19世紀初頭の音楽」ということを強く意識していました。作曲当時の演奏スタイルを現代の楽器でどうやって生かすか、みたいなことを考えていましたが、ここ数年はもう少し大らかな気持ちで取り組んでいます。当時のスタイル、それはそれで大切ですが、ベートーヴェン当時の楽器でなされていた表現を現代の楽器のうえで試みても、必ずしも作曲の意図を反映することにはならないのではないか。やはり自分が演奏する楽器に合わせた表現のほうが、より自然ではないかと考えるようになりました。

3年ほど前にベートーヴェンのソナタ全32曲を演奏・録音する機会があったのですが、全曲弾いたというのは貴重な体験でした。簡単には言葉に出来ないような、深い経験です。それまではある種の近寄りたさを感じていた存在が、一気に近し

いものになりました。楽譜の読み方も当然変化しただろうと思います。指揮者の朝比奈隆さんが、若い指揮者に「ベートーヴェンのシンフォニーは絶対に全曲演奏すべきだ」とアドバイスしていたのですが、その意味がなんとなく分かったような気がします。

——リサイタルへ向けての意気込みをお聞かせください。

今回は初期から後期の作品まで様々なベートーヴェンを聴いていただけます。ベートーヴェンのソナタには、互いに似た曲はひとつもありません。常に新しい表現を求める実験精神に満ち溢れた、ほんとうに多様で豊かな世界です。とくに後期のソナタは、深く峻厳でありながら安らぎも感じさせるような独特の精神性を備えています。ベートーヴェンの掲げた高い理想に少しでも近づけるように、全力を尽くして演奏したいと思います。

——最後に新潟の音楽ファンへメッセージをお願いします。

9年ぶりにリゅーとびあで演奏できることを本当に嬉しく思っています。ホールの素晴らしい響き、温かい雰囲気、ベートーヴェンの傑作の数々、すべてが今から楽しみです。「心から心へ」というベートーヴェン自身の言葉がありますが、作曲者の心を皆様の心へ伝えることが演奏家として私の使命です。心を込めて演奏します。

イリーナ・メジュエワ  
Irina Mejejeva / ピアニスト

ロシアのゴーリキー(現ニジニー・ノヴゴロド)生まれ。1992年ロッテルダムでのE.フリプセ国際コンクールで優勝。バロック、古典派から近・現代に至る作品までレパートリーは幅広く、近年再評価の進むロシアの作曲家ニコライ・メトネルの作品紹介にも力を入れている。2008年から2009年にかけてベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲の演奏に取り組むなど、精力的な演奏活動を展開中。



## 肉体と音楽が出会い、切り開かれた新たな世界

『サイトウ・キネン・フェスティバル松本2011』で、バルトーク作品の演出・振付という大役を担った金森穰。至難とされるバルトークの2作品を、オペラ、バレエの両アプローチから描くという、画期的かつ挑戦的な試みである。世界に名だたる音楽家が集う、クラシック界きっての天舞台。そこで、金森が提示した舞踊芸術とは――。

写真:篠山紀信  
撮影協力:サイトウ・キネン・フェスティバル松本

バレエ「中国の不思議な役人」より

信州・松本を舞台に開催される毎夏恒例の音楽祭『サイトウ・キネン・フェスティバル松本』。世界的指揮者・小澤征爾が総監督を務める、クラシック・ファン垂涎の一大フェスティバルである。そのメインプログラムとして今年ひと際話題を集めたのが、金森穰の演出・振付によるバレエ作品『中国の不思議な役人』と、オペラ作品『青ひげ公の城』。1992年の開幕以来例年のようにオペラを上演してきたフェスの中でも、日本人演出家の起用は初めてであり、またバレエ作品の公演を行うのも今回が初めてのことで、一方金森にとっても、オペラの演出は本作が初の試みとなる。異例に満ちたプログラムを前に、日ごと高まる注目と期待。そして、いよいよ待望の幕が開き――。



バレエ「中国の不思議な役人」より

第1部を飾ったのは、沼尻竜典指揮によるバレエ作品『中国の不思議な役人』。闇が支配する舞台の上

で、じっと佇む黒衣の群れと、妖艶に舞う娼婦・ミミ。退廃と混沌が渦巻く街で、ミミの肢体だけが目映い輝きを放つ。その魔性に魅入られ、ひとり、ふたりと餌食になる男たち。しかし中国の役人があらわれると一転、空気は不穏な色に染まる。黒衣に四肢を操られ、無表情かつ執拗にミミを追う役人の不気味な気配……。バルトークの物語をベースに、金森の解釈を加え再現したという本作。欲と性にさいなまれる人間と、生に焦がれる人形の対比を通し、愛と死という究極のテーマが生々しく抉り出されてゆく。

続く第2部では、小澤征爾指揮による『青ひげ公の城』を上演。そこで金森が提示したのは、徹底した抑制の美だ。ダンサーを歌い手の内なる声として配し、彼らが秘める嫉妬や執着、葛藤といった感情の行方を映し出す。黒衣がそとがかざす炎の揺らめき、静謐な城に潜む妖しい息づかい、閉ざされた扉の奥にチラつく影――。演出の妙に加え、踊り手たちの好演も光った。彼らはときに黒衣となり、ときに語り部となって劇を担う。なかでも井関佐和子のみせた迫真の演技と、圧倒的なスケール感の特筆もの。彼女が纏う類を見ない吸引力は、



オペラ「青ひげ公の城」より

舞踊家たる確固たる決意のあらわれか。大舞台上自らを投げ出し、どこまでも大胆かつ奔放に駆ける。その姿は鮮烈で、激しくも潔い。

独自の視点で舞踊化を果たし、表裏一体となったバルトーク――。ふたつの大作を見事に描ききった金森の、振付家、そして演出家としての稀有なる才を改めて思い知る。新たな芸術世界を切り開いた、身体と音楽の出会い。それはまた、クラシック・ファンにとっても得難い体験だったに違いない。純粋な感動の前に、言葉は不要だ。雄弁な肉体が奏でる、麗しき調べ。その響きはジャンルの垣根をあっさり越え、人々の胸に確かな何かを残していった。

取材・文:小野寺悦子

## 改訂版再演 劇的舞踊『ホフマン物語』

2010年7月、新潟限定で初演された劇的舞踊「ホフマン物語」を再演します。本作はメインカンパニーNoism1と研修生カンパニーNoism2による初の合同作品で、Noism芸術監督・金森穰が振付において追及してきた「人形」「娼婦」「生け贄」という三つのテーマを凝縮。「舞踊の物語性」をとことん追求することでNoismの新境地を切り拓いた、金森作品の集大成ともいえる大作です。1年半の歳月を経て、さらに輝きを増した舞台にご期待ください。

【日時】2011年12月16日(金) 19:00、17日(土) 17:00  
【会場】リゅーとびあ劇場  
【入場料】全席指定 一般4,000円 学生2,000円(再演特別価格)  
【演出振付/空間】金森穰  
【音楽】トン・タッ・アン 【衣裳】中嶋佑一(artbut)  
【照明】伊藤雅一(株式会社 流)、金森穰 【映像】遠藤龍  
【出演】Noism1&Noism2



写真:篠山紀信

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp>「活動支援」/リゅーとびあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。



# RYUTOPIA NAVIGATION 2011 AUTUMN/WINTER

2011年秋～冬のおすすめ公演をピックアップ。

公演情報の詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

## クラシックファン必聴! 交響曲「田園」を徹底解説

りゅーとびあ・ベートーヴェン・ツィクルスVol.6  
茂木大輔のオーケストラ・コンサートNo.7  
■2011.11.19(土)17:00開演 ■コンサートホール

『生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会』でもおなじみの茂木大輔による愉快なお話と映像、オーケストラの演奏で綴る人気のコンサート。今年は名曲中の名曲、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」の魅力を徹底解説・全曲演奏します。クラシック上級者から初心者まで、音楽の知識を深めながら楽しく鑑賞できること間違いなし! N響、読響、日本フィルなどの首席奏者を中心に結成される「もぎオケ交響団」の演奏にもご期待ください。



## オルガンと声楽アンサンブルによるクリスマス物語

りゅーとびあ・オルガン・クリスマス★コンサート  
■2011.12.16(金)19:00開演  
■コンサートホール

古楽やオペラのみならず、演出家としても活躍する歌手 彌勲忠史をリーダーとする精鋭4人の歌手による声楽アンサンブルと山本真希のオルガンによるクリスマス物語をお贈りします。困難な時代を迎えた今、希望にあふれたクリスマスの物語を軸に、心温まる、心清められる、心励まされる音楽をお届けします。語り手にアナウンサーの伊勢みずほを迎えます。



山本真希



伊勢みずほ

## 往時の響きを再現する特別コンサート

りゅーとびあ・ベートーヴェン・ツィクルスVol.3  
平井千絵「フォルテピアノで聴くベートーヴェン」  
■2011.10.6(木)19:00開演  
■スタジオA

ピアノの前身の楽器、フォルテピアノ。その魅力に取りつかれたベートーヴェンは、ピアノ・ソナタ「月光」など数多くの傑作を遺しました。ツィクルスVol.3では、劇的で幻想的な効果を生むフォルテピアノを使用して往時の響きを再現。サロンのように親密な空間(=スタジオA)で、オランダ在住のフォルテピアノ奏者 平井千絵が、ベートーヴェンの時代へと聴衆を誘います。



## 仙台のオーケストラが2時間たっぷり聴かせます!

りゅーとびあ・ベートーヴェン・ツィクルスVol.4  
仙台フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会  
■2011.10.16(日)17:00開演  
■コンサートホール

今年5月の「ラ・フォル・ジュルネ新潟」で胸に迫る熱演を披露し、万雷の拍手で会場を満たした仙台フィル。この秋は小泉和裕を指揮に迎え、力の入ったオール・ベートーヴェン・プログラムで再び登場します。曲は「エグmont」序曲、交響曲第4番、そして大傑作の交響曲第3番「英雄」。大震災に負けず活動を続ける仙台フィルの全身全霊をかけた演奏をお聴き逃がしなく!



小泉和裕

## 弦楽四重奏曲で聴くベートーヴェンの真髓

りゅーとびあ・ベートーヴェン・ツィクルスVol.5・8  
カルテット・エクセルシオ「ベートーヴェン弦楽四重奏曲連続演奏会」  
■【第2回】10.21(金)【第3回】12.6(火) 各日とも19:00開演  
■スタジオA

ベートーヴェンは生涯にわたって弦楽四重奏曲を創作し、それまでの作曲家にはなかった独自の精神世界を表現するに至りました。まだ誰も同じ高みへ登ったものはいないといわれる至高の作品群の中から、今回は選りすぐりの名曲をお届けします。演奏はベートーヴェンの演奏をライフワークとするカルテット・エクセルシオ。渾身の演奏で楽聖の本当の素顔に迫ります。



## マエストロ大友指揮で贈るイギリスと北欧の音楽

第68回新潟定期演奏会／東京交響楽団  
■2011.11.6(日)17:00開演  
■コンサートホール

指揮者大友直人が得意とするイギリスと北欧音楽のプログラム。「惑星」で有名なホルストが、女学校の生徒のために作曲した「セントポール組曲」。ノルウェーの伝統を受け継ぐNo.1ピアノニスト、ホーヴァル・ギムセを迎えて贈る、グリーグのピアノ協奏曲(世界三大ピアノ協奏曲の一つに数えられる名曲!)。そして北欧の自然賛歌シベリウスの交響曲第5番をお贈りします。



大友直人



ホーヴァル・ギムセ

## 大迫力のオーケストラ公演をお手頃価格で!

りゅーとびあ特割コンサート  
～東京交響楽団名曲コンサート～  
■2011.11.7(月)18:30開演 ■コンサートホール

年6回定期演奏会を開催し、新潟のお客さまから絶大な信頼と熱烈な支持を集めている東京交響楽団が、オーケストラ初心者に贈るコンサート。今年は、学校や仕事が終わってからゆっくり楽しめる夜公演です。指揮とお話は飯森範親。多彩なオーケストラの魅力を一時間にギュッと凝縮した内容は、大人も子どもも大満足。チケットは特割価格で1,500円。お求めはお早めに!



飯森範親

## 0歳からの歌のコンサートと3歳からの童話オペラ

オペラシアターこんにやく座  
オペラ《ピノッキオ》&こどもの歌のコンサート  
■2011.12.23(金・祝)  
こどもの歌のコンサート11:00開演  
オペラ《ピノッキオ》15:00開演  
■コンサートホール

午前はりゅーとびあオリジナルの、こんにやく座ソング・プログラムによる「0歳からのこどもの歌のコンサート」、午後は3歳から楽しめる名作オペラ《ピノッキオ》。こどもたちみんなに贈る歌のクリスマスプレゼント!



## 大竹しのぶ主演! 愛と歌で綴る、ピアフの疾走する人生

ピアフ  
■2011.11.9(水)19:00開演 ■劇場



ニューヨークのブロードウェイやロンドンのウェストエンドで、歴代の名女優によって演じ継がれてきた、パム・ジェムス作の傑作舞台「ピアフ」。パリが最も愛したシャンソン歌手エディット・ピアフ(1915～1963)が、小さな身体一杯に圧倒的な歌声を響かせ、物語を紡ぎ、愛に生きる姿を描きます。主演はミュージカルでの好演や自身の歌手活動も目覚ましい大竹しのぶ。この他、豪華キャストで贈るこの秋最高の話題作です。

## 能楽堂で楽しむ秋の情緒

秋の能楽鑑賞会(宝生流)  
■2011.10.22(土)〈第1回〉13:00開演・〈第2回〉16:30開演 ■能楽堂

能、狂言、舞囃子など能楽の様々な要素が楽しめる「秋の能楽鑑賞会」。〈第1回〉は秋の大和を舞台に美しい神楽舞を楽しめる能「三輪(みわ)」を、〈第2回〉では『平家物語』を題材に平家の貴公子の悲劇を詩情豊かに描いた人気の能「清経(きよつね)」を上演します。能楽堂で秋の情緒を感じながら、伝統芸能を楽しむ贅沢なひとときはまさに格別。ひのき香る能楽堂で究極の和の舞台芸術を存分にご堪能ください。



能「三輪」



能「清経」

秋能がもっと楽しくなる  
■「秋能プレ講座」開催  
10月10日(月・祝)13:30～15:00 能楽堂  
※詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

〈第1回〉能「三輪」渡邊菊之助 ほか  
〈第2回〉能「清経」朝倉俊樹 ほか

## 昼の部、夜の部とも見どころ満載!

人形浄瑠璃 文楽  
■2011.10.3(月)昼の部14:00開演・夜の部18:30開演  
■劇場

太夫(たゆう)、三味線、人形芝居が三位一体となった情緒豊かな文楽の世界に浸ってみませんか?〈昼の部〉では、子を思う親心と幸せを諦める若い娘の悲しみが胸を打つ「新版歌祭文(しんぱんうたざいもん)」ほかを。また〈夜の部〉では、恋慕、嫉妬、怒り、後悔、悲しみ、恩愛といった心情が強く胸に迫る「摂州合邦辻(せつしゅうがっぼうがっつじ)」ほかをお届けします。



「新版歌祭文」野崎村の段

【昼の部】「双蝶々曲輪日記」八幡里引窓の段、  
「新版歌祭文」野崎村の段  
【夜の部】「団子売」、「摂州合邦辻」合邦住家の段

## 巧みな話芸でたっぷり魅せます!

春風亭小朝独演会 ～第十四回公演～  
■2011.10.20(木)19:00開演  
■劇場

テレビのバラエティ番組などでもおなじみの、当代きっての人気落語家 春風亭小朝。その磨き抜かれた巧みな話芸は、落語ファンならずとも一度聴いたらやみつきになるほどの面白さ! 現代の感覚で語られる古典落語のライブ感、小朝師匠ならではの魅力にあふれています。どんな話が飛び出すのかは当日までのお楽しみ。これから落語を聴いてみたい方も、この機会にぜひどうぞ!



春風亭小朝

## 豪快な能「殺生石」で今年をしめくり

能楽基礎講座特別版「馬場あき子 能楽の愉しみ」  
■【第3回】テーマ:能「殺生石」2011.12.11(日)14:00開演  
■能楽堂

「2時間があっという間」と大好評の歌人・馬場あき子による能楽講座。今年度を締めくくる第3回は、巨石が割れ妖狐が登場する豪快な能「殺生石」を取り上げます。物語を文学的・歴史的な背景を踏まえて解き明かし、舞や装束・能面などの解説や実演を通して作品の魅力に迫ります。馬場さんの深い知識と豊かな想像力でよみがえる能楽の世界をどうぞお楽しみに!



能「殺生石」

## 実力派女優の二人芝居を能楽堂で!

おやすみ、かあさん  
■2011.12.6(火)19:00開演・7(水)14:00開演 ■能楽堂

強い衝撃と感動で1983年度ピューリッツァー賞を受賞した問題作。演出は、映画「東京公園」(2011年)がロカルノ国際映画祭で金豹賞審査員特別賞を受賞するなど、映画監督として国内外で高い評価を得ている青山真治。登場人物の母娘を演じるのは、「百物語」シリーズなどでおなじみの白石加代子と、ドラマ・映画はもちろん、舞台での活躍も注目を集める中嶋朋子。実力派として知られる二人の女優が、能楽堂を舞台に迫真の演技を繰り広げます。



白石加代子、中嶋朋子

## 今年も必見! ユーモアたっぷりの古典狂言

野村万作・萬斎狂言公演  
■2011.11.13(日)13:00開演・17:00開演 ■能楽堂

人間国宝の野村万作と、縦横無尽の活躍をみせる野村萬斎による大人気の狂言公演が今年もやってきます。今回は、お酒を飲むために奮闘する登場人物の愉快な様子を描いた「樋の酒(ひのさけ)」と、お布施を得るために苦心する僧の姿が笑いを誘う「無布施経(ふせないきょう)」を上演。どちらも人間味にあふれる狂言らしい演目です。演者を間近に見られる能楽堂で、狂言師たちによる笑いの妙技をじっくりとご堪能あれ!



■狂言「樋の酒」野村萬斎  
■狂言「無布施経」野村万作





愛知県芸術劇場のオルガン



共演したトランペット奏者の栃本さんと

# 山本真希のオルガン世界紀行

文 山本 真希 (りゅーとびあ専属オルガニスト)

vol.6

## 愛知県名古屋市 ～オルガン・クリスマスコンサート～

昨年12月、愛知県芸術劇場でのオルガン・クリスマスコンサートにお招きいただきました。豊かな響きのコンサートホールには、ドイツ、K.シュッケ社製の大型の楽器が設置されています。5段鍵盤とペダル、93ストップ(音色)を持つこのオルガンには7,000本近いパイプがあり、国内最大級の規模を誇ります。新潟のオルガンにもある水平トランペット管も備えられていました。オルガンは荘厳で堂々とした趣きがあり、力強い響きで会場全体を包みます。ステージ上には移動式第2演奏台も用意されており、本体部分と舞台上を移動して演奏しました。また、共演者のトランペット奏者栃本さんは、素晴らしい演奏と楽しいトークで、コンサートを華やかな雰囲気に盛りたてて下さいました。名古屋を訪れたのは初めてでしたが、満席のお客様、ホールスタッフの方々に温かく迎えていただき、音楽する喜びをひしひしと感じた幸せな時間でした。

今年の「りゅーとびあ・オルガン・クリスマス★コンサート」

では、クリスマスにおこった奇跡の物語を、天上の歌声にのせてお届けいたします。愛と希望と救いのメッセージを運んでくれたイエス、その誕生を祝うクリスマスの物語を、伊勢みずほさんの語りで辿ります。冬を彩るイルミネーションやクリスマス・ソング、世界中が祝うクリスマスは、世の中全体が喜びに包まれる特別な瞬間。オルガンは、祝祭の賛美を力強く支え、喜びを共に高らかに祝います。

今年は未曾有の大災害という、とてもつらく悲しい出来事がありました。また、深刻な自然災害も相次いでいます。この国が大変な状況にある今、クリスマスの喜びが、明るい未来への希望の光となるように、そして喜びのうちにあっても、苦しみの中に生きる方々のことを思い、復興への願いをこめてクリスマスのメッセージをお贈りしたいと思います。厳しい新潟の冬、オルガン・クリスマスコンサートが心温まるひと時となり、皆様に素敵なクリスマスが訪れますように。

**PROFILE** Yamamoto Maki  
大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガン・コンクール第3位。りゅーとびあ専属オルガニスト、大阪相愛大学オルガン科講師。新潟市在住。



### オルガン・インフォメーション

- りゅーとびあオルガン講座 2011秋のオルガン発表会 10月9日(日) 14:00 コンサートホール 小学生から社会人まで、りゅーとびあでオルガンを学んでいる講座生の発表会。修了生による賛助演奏もあります。入場無料ですでお気軽にご来場ください。
- りゅーとびあ・オルガン・クリスマス★コンサート 12月16日(金) 19:00 コンサートホール ※公演情報の詳細は「りゅーとびあカレンダー」をご覧ください。

## INFORMATION

### りゅーとびあ ご利用 How much ?

りゅーとびあの様々な利用方法をご提案します。

### 芸術の秋!ギャラリーで作品発表

4階にギャラリースペースがあるのをご存知ですか?  
絵画展、写真展、書展を中心に、手作小物や建築模型の展示、新潟ならではのマンガ作品展など、さまざまな作品発表の場としてお使いいただいています。ホールへ来場したお客様がふらっと立ち寄れるのもりゅーとびあギャラリーのいいところ。展示作業の際は熟練したスタッフがお手伝いいたしますので安心してご利用いただけます。

※利用内容、附属設備、利用区分(午前・午後・夜間)によって料金が変わりますので、詳しくは下記へお問い合わせください。

りゅーとびあ 施設課 利用サービス係 TEL 025-224-5621 (9:30~18:00)



▲日本中国文化交流協会創立55周年記念「写真で見る中日文化交流の55年展」

写真展(3日間開催/入場無料)  
1日目 9:00撤入・展示、13:00開場、18:00終了  
2日目 10:00開場、18:00終了  
3日目 10:00開場、15:00終了、撤収・撤出、17:00退館

#### ギャラリー利用例(9:00~22:00 3日目~17:00)

- |                                                                       |                                                     |                |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------|
| ①施設使用料 計¥54,000<br>1日目... ¥20,000<br>2日目... ¥20,000<br>3日目... ¥14,000 | ②付属設備使用料(3日間) 計¥18,600<br>可動式パネル×3枚、<br>展示用スポット×25個 | ①+② 合計 ¥72,600 |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------|

### りゅーとびあ もなか ビュッフェに新メニュー「最中アイス」が登場!



※写真はイメージです

●贅沢最中シリーズ 各種 **¥200** (税込)  
(ブルボンバナナ、マスカルポーネ&マーブルチョコ、ラムレーズン&オレンジ、ヘーゼルチョコアーモンド)

濃厚なアイスをパリの薄皮で包んだ贅沢な最中(もなか)アイスです。新潟県内の工場からの直送品で、人気の味を数種類ご用意。ずっしりサイズなので「ちょっとおなかがいいたな...」という時におすすめです。鑑賞前や休憩時間にぜひお召し上がりください。



※写真はイメージです

●さくらのつぼみシリーズ 各種 **¥150** (税込)  
(バナライちご、抹茶あずき、小倉)

薄皮のおもちでふくらんだもちもちの新食感!

## ぶらりFURUMACHI

文・イラスト：迫 一成 (hickory03travelers)

vol.6

### 「古町の変化」

暑くて忙しい夏が終わり、過ごしやすいく秋になりましたね。福岡出身の私にとっては、新潟の秋は短く寂しい気もしますが、おいしい農作物の収穫の時期であり、文化的なイベントも多いので楽しい季節です。私の店でも、陶器の企画展が開催されます。楽しみです。

さて、最近ちょっと気になったもの。それは、道路が改修された古町モールの花壇のよう

なスペースです。先日は、巨大な魚のオブジェや土でできたかわいいキャラクターなどが展示されていてびっくりしました。日常の中に発見や驚きがあるのが古町の魅力の1つです。

それとは別に、いつも変わらず丁寧にお客様を迎え入れてくれる老舗があるのがほっとします。先日、手土産を買いに立ち寄ったカステラ屋「はり糸」では、お店の方と心地良い会話をさせていただきました。息子とたまに行く「大阪屋」(プリンロールが我が家でブーム)は、いつも騒がしい私たちに丁寧に接していただけます。ちょっとしたこ



うことで、心が癒されます。そして私も、お客様を迎え入れる側としてがんばらねばと。

古町はこれからどんどん変わって行くと思います。便利になることも大事だと思いますが、もっと暖かみのある、ほっとする、そして個性的な場所になるといいなと思います。みなさんも一緒に古町の変化をお楽しみいただくと幸いです。

**PROFILE** Sako Kazunari 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しむ」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔軟に活動中。  
<http://www.h03tr.com>

## RYUTOPIA Before? After?



りゅーとびあでのコンサートや舞台鑑賞の前後に立ち寄りた「パートナーショップ」のお店をご紹介します。

### Café砂場

ネルドリップ珈琲とスコーンが人気の、30年以上も継続されている老舗カフェ。町屋作りの雰囲気がどこなく懐かしいお店です。



新潟市中央区西堀前通3番町724-4 2F  
TEL 025-224-9570  
<http://www6.ocn.ne.jp/~megumegui/index.html>  
【営業時間】火曜~金曜 14:00~23:00  
土曜・祝日 12:00~22:00  
日曜 13:00~19:00  
【定休日】月曜日

### パートナーショップ特典

## 10%割引またはスコーン150円引き

パートナーショップとは?

りゅーとびあで開催された公演チケットが、りゅーとびあ友の会 N-PAC mate 会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。現在42店舗が加入中! 詳細はりゅーとびあホームページでご確認ください。  
※公演によっては対象外のものもございます。

## 借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展

スタジオジブリ作品「借りぐらしのアリエッティ」のセットが大空間に出現します。

2011年  
**11月3日**(木・祝)  
2012年  
**~1月15日**(日)

### 観覧料

- 前売券 一般 1,000円  
大学・高校生 800円  
当日券 一般 1,200円  
大学・高校生 1,000円  
団体券 一般 1,000円  
大学・高校生 800円  
※有料20名様以上  
お問合せ TeNYチケット専用ダイヤル



「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW

お問合せ TeNYチケット専用ダイヤル 新潟県立近代美術館  
TEL 025-281-8000 TEL 0258-28-4111  
(平日9:30~18:00)

## 新潟県立近代美術館

主催:「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」新潟県実行委員会、新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟新潟県特別協賛:ブルボン

電話予約・お問合せ [TeNYチケット専用ダイヤル] (平日9:30~18:00)

# TEL 025-281-8000

<http://www.teny.co.jp/> 詳しくは、TeNYのホームページ「イベント情報」をチェック!!

## 鼓童ワン・アース・ツアー 結成三十周年スペシャル

今年、結成30周年を迎える太鼓芸能集団「鼓童」。生命の根源から生み出す「原始のエネルギー」を感じさせる圧巻の舞台をお見逃しなく!

2011年 - 長岡公演 -  
**12月20日**(火)

開演 19:00  
長岡市立劇場大ホール  
主催: (財)長岡市芸術文化振興財団 TeNYテレビ新潟

2011年 - 新潟公演 -  
**12月21日**(水)

開演 19:00  
新潟県民会館大ホール  
主催: TeNYテレビ新潟 (財)新潟県文化振興財団



お問合せ

TeNYチケット専用ダイヤル  
TEL 025-281-8000 (平日9:30~18:00)  
長岡公演 (財)長岡市芸術文化振興財団事業課  
TEL 0258-29-7715 (9:00~18:00)  
新潟公演 新潟県民会館  
TEL 025-228-4481

